子ども、先生も理科が大好きに！

～教員の夏季課題別研修会～

理科の学習では、子どもたちが知的好奇心や探究心をもって自然に親しみ、目的意識をもった観察・実験を行うことにより、科学的に調べる能力や態度を養うとともに、科学的な見方や考え方を育てることを大切にしています。日野市では、地元の企業や施設と連携しながら、理科好きな子どもの育成につながる魅力ある授業づくりに向けた教員研修を工夫しています。

発電や蓄電、手作りモーターの実験から学ぶ理科実技研修会

今年で四年目を迎えた富士電機グループによる理科実技研修会を、8月1日（水）、富士電機能力開発センターにて行いました。

講師の富士電機（株）技術開発本部田島さんからは、身近な電気製品をもとに、電気を光や熱、運動に変えて利用する方法について講義を受けました。LED電球などを用いて発電・蓄電についての実験を行うことで、電気のしくみについて理解を深めました。また、一人一人が富士電機オリジナルの手作りモーターを製作し、ものづくりと理科実験のコツを学びました。

午前、午後合わせて28名の参加した先生からは、この研修で学んだ電気についての幅広い知識と、実験を通して味わった理科の楽しさを、子どもたちに伝えていきたいという声が聞かれました。

多摩動物公園における昆虫スキルアップ研修会

8月21日（火）、東京都多摩動物公園において、21名の先生が参加して、昆虫スキルアップ研修会を行いました。この研修は、昆虫の行動観察や採集、飼育の方法を学びながら、生命の連続性や神秘性に触れたり、周囲の環境とのつながりに気付いていくことを通して、授業で役立つ知識を学び、併せてスキルの向上を図ることを目指しています。

はじめに、多摩動物公園動物解説員の岩淵さんからチョウの生態について説明を受けながら、昆虫生態園でたくさんのチョウの行動観察を行いました。昆虫ホールでは、昆虫飼育係の深谷さんから、アゲハチョウの卵、ふ化したての幼虫、脱皮を繰り返して大きくなった幼虫、さなぎ、成虫など、発育の段階に応じた飼育のポイントを、観察を通して学びました。野外で採集したバッタやカマキリなどの仲間分けをしながら、口や羽などの特徴を注意深く観察し、次第に、昆虫にも詳しくなっていきました。

深谷さんは、「実際に手に触れることで、生物の本当の姿が分かります。」と、昆虫の観察、飼育のおもしろさを、体験を通して教えてくださいました。

（学校課）

教員全体研修会を終えて

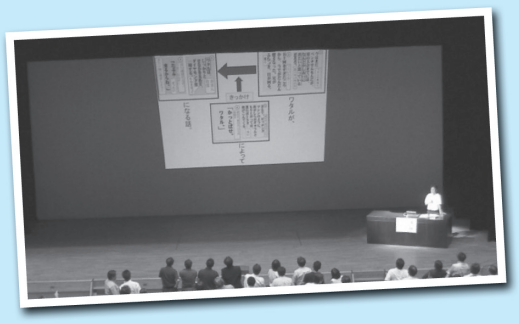
夏季休業日に入って、すぐの7月24日に、ひの煉瓦ホール・大ホールにて、日野市の小・中学校の先生が一堂に会して教員全体研修会を開催しました。

日野市では通常学級での特別支援教育のスタンダードを「ひのスタンダード」として各学校で取り組んでいます。今年の全体研修会は、「ひのスタンダード」の実践のさらなる充実に向けて、明星大学の小貫悟准教授、筑波大学附属小学校の桂聖教諭を講師にお招きし、「授業のユニバーサルデザイン」をテーマに研修を行いました。

第一部は、実際に桂先生によるユニバーサルデザインの国語の授業を先生方に見せるために、日野第三小学校の四年生の児童の皆さんと共に公開授業を行いました。児童の皆さんは、約700名の日野市の先生が見ている中で、とても緊張したと思いますが、その中でも、いつもと同じように活発な意見を出し合い、一所懸命に活動をしていました。第二部では、桂先生による授業の振り返りと別の教材をもとにした参加型の講演を通して、通常の学級でのユニバーサルデザインの授業の手法、教師の工夫と配慮といった具体的な授業づくりの在り方などについてご指導いただきました。講演会の最後は、日野市で研究奨励校として実践的な取組を行っている日野第三小学校と日野第三中学校の報告で研修会を終えました。

講演会については、「教師側の工夫配慮によって、全員参加のユニバーサルデザインの授業ができる。」「焦点化・視覚化・共有化といったユニバーサルデザインの授業に取り組んでいきたい」という感想をいただきました。また「子どもたちのがんばりが素晴らしかった」という声もたくさん寄せられました。

教育委員会では、今後も日野市が目指す「魅力ある授業づくり」に向けて、先生方の支援に努めてまいります。（学校課）



日野市適応指導教室 わかば教室

「わかば教室」は、不登校や登校しぶりが見られる市内小中学生が通室する教室です。教室は日野市立教育センターの3階にあり、8月1日現在、小学生4名、中学生34名、計38名の児童生徒が元気に通室しています。担当の指導員は7名、カウンセラーが2名、e・ラーニング（パソコンを活用した学習）担当2名、そして明星大学の学生ボランティア13名が児童・生徒のよき相談相手、よき学び相手、よき触れ合い相手として支援に当たっています。また、楽しく充実した体験活動を取り入れたり、一人一人の学力進度にあった学習を進めたりしながら、自立への成長を支援し、基礎学力を高める指導をしています。また、教育相談を充実し、児童・生徒そして保護者との面談および市内小中学校との連携を定期的に行っています。そして、中学3年生には、高校進学を目指した学習支援をしています。昨年度の中学3年生17名においては、都立高13名、私立校4名と全員が高校進学しました。また、今年度から夏季補習学習を10日間設定しました。（教育センター）

日野市教育相談室

日野市教育相談室は、日野市立教育センター内にあり、子どもたちの学校での気になる様子や生活上の悩みなどの相談に応じ、相談員（臨床心理士）が解決のお手伝いをしたり、情報提供や専門機関を紹介するところです。

また、相談ケースにより、教育センター内の適応指導教室（わかば教室）と連携し、効果的な指導・支援に努めています。

相談には、不登校やいじめ、性格の問題、発達や心身の障害に関すること、学習や学級・学校のこと、しつけや育て方、家族や友達のことなど様々な内容があります。ほかにも進路や学校選択をはじめ、相談に関する問い合わせも多く、いずれも相談内容の秘密は守られています。

相談室には、教育相談専用の電話と子どもこころの電話相談（いじめの相談）専用の電話が用意されています。

教育相談　592―1160
子どもこころの電話相談（いじめの相談）　592―2782

気になることや困っていることがありましたら、祝日を除く月曜～金曜の10時～17時に電話でご相談ください。また、ご希望や相談内容の緊急度などによって、予約制となりますが、来室による相談も行っています。（教育センター）